

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2023.8.1
No.194



令和5年市議会第2回定例会
一般会計補正予算案などを議決
補正後総額231億3,118万5千円

第68回美濃加茂市消防操法大会で優勝した第8分団(下米田地区)

主な内容

- ◆定例会の審議結果 ……2～3P
- ◆議案クローズアップ ……2P
- ◆委員会審査の概要 ……4～5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
……………6～13P
- ◆議会日誌・議会を傍聴しました
……………13P
- ◆編集後記・お知らせ
……………14P

定例会の審議結果

令和5年

第2回

定例会

令和5年6月13日に美濃加茂市議会第2回定例会が開会され、会期を6月29日までの17日間と決定しました。その後、総額231億3,278万5千円（2億9,762万6千円追加）となる令和5年度一般会計補正予算（第2号）を含む24案件（請願1件含む）を上程し、提案説明が行われました。そのうち、「美濃加茂市農業委員会の委員の任命について」計14議案を質疑、採決まで行いました。また、請願については委員会付託し、散会しました。

第17日目（最終日）は、議第28号について撤回の申し出があり、採決の結果、撤回が承認されました。その後、各常任委員会の委員長報告があり、動議により議第29号の修正議案が追加上程されました。議案説明の後、質疑、討論（賛成、反対）を行い、初日に採決した14議案を除く9議案（請願1件含む）について、採決をし、定例会を閉会しました。



議案 クローズアップ

議第29号

令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第2号）【修正可決】

【概要】

原案の一般会計補正予算の内訳としては、市内の小中学校と双葉中学校に通う児童、生徒について5,000円を補助する学校教材費等支援事業や、水道基本料金3カ月無料とする事業の水道事業負担金を含む予算を2億9,762万6千円増額するもので、成立後の予算総額は231億3,278万5千円でした。

修正動議は歳出予算第2款総務費中第1項総務管理費を160万円減額する案で、ブラジル岐阜県人会85周年、岐阜県人ブラジル移住110周年記念式典に市長と随行職員が参加するための予算を減額するもので、市の不適正事務処理が続く中での市長のブラジル訪問の時期は不相当だとして、下記の議員6名から修正動議が提出されました。

修正可決後の補正予算額は2億9,602万6千円増額した総額231億3,118万5千円となりました。

【議案の修正とは】

議会に議案（条例の制定や予算を定めることなど）が提出された場合、議案の内容に対して、議員は必要に応じて議案を修正（内容を削除、減額、追加などにより変更）することができます。

議案の修正を行う場合は、その議案の範囲内において、修正案を添えて修正の動議を提出します。

【修正動議提出議員】

- ・山田 栄
- ・森 弓子
- ・永田徳男
- ・坂井文好
- ・田口智子
- ・高井実枝

【これまでの修正動議の提出について】

過去、美濃加茂市議会で修正動議が提出されたことは、平成21年第3回定例会にて、旧シュロス解体に係る交流広場整備事業費と中山道会館駐車場整備に係る観光施設整備事業費を削減する1件のみでした。

当時、修正案は否決され、原案が可決されました。

修正案が可決されるのは令和5年第2回定例会が初めてのことになります。

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で可決（採択）された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第1号	専決処分の承認を求めることについて 令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算（第11号）	3億6,248万3千円の増額、予算総額は245億4,768万1千円
承第2号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行うもの
承第3号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行うもの
承第4号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられ、新型コロナウイルス感染症に関する特例が廃止されたことに伴い、条例の一部改正を行うもの
承第5号	専決処分の承認を求めることについて 和解及び損害賠償額の決定について	地方自治法第96条第1項12号及び13号の規定に基づく和解及び損害賠償の額を決定した専決処分の承認を求めるもの
議第28号	美濃加茂市常勤の特別職職員の給与の特例に関する条例について	議案撤回の申し出承認
議第30号	令和5年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第1号）	営業収益から営業外収益へ1億2,200万円財源更生するもの
議第31号	和解及び損害賠償の額を定めることについて	地方自治法第96条第1項12号及び13号の規定に基づく和解及び損害賠償の額の決定
議第32号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（中島良紀氏 再任）
議第33号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（林江梨子氏 新任）
議第34号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（鬼頭昌章氏 再任）
議第35号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（座馬利裕氏 新任）
議第36号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（佐口宏章氏 新任）
議第37号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（酒向孝志氏 新任）
議第38号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（堀部祐樹氏 新任）
議第39号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（藤吉正道氏 再任）
議第40号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（間宮子鈴氏 再任）
議第41号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（木澤孝彦氏 新任）
議第42号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（朝日修氏 再任）
議第43号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（鈴木美和氏 新任）
議第44号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（日比野和彦氏 新任）
議第45号	美濃加茂市農業委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の選任同意（坂井文好氏 新任）

議案の審議結果

その他（賛否が分かれたなど）の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名																	
			谷本 梓	亀井 滋昭	高井 実枝	額 源太	渡邊 一子	田口 智子	永田 徳男	坂井 文好	岸 一夫	渡辺 孝男	村瀬 正樹	金井 文敏	柘植 宏一	森 弓子	森 厚夫	山田 栄		
議第29号	令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第2号） （上：修正案 下：修正部分を除く原案）	修正案可決	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	-	×	○	×	○
		修正部分を除く原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○
陳第1号	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書について	趣旨採択	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	欠	×	-	×	○	○	○	

委員会審査の概要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

文教民生常任委員会

《令和4年度市一般会計補正予算（第11号）》

◆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（3億1,119万7千円）

問 事業の詳細は。

答 令和5年度の春以降の接種を予算として計上している。

春接種は65歳以上の方、基礎疾患のある方、及び医療従事者が対象となり、対象者数は約1万3,000人となる。

秋接種以降については、5歳以上の方が対象になり、対象者数は4万2,000人となる。

《令和5年度市一般会計補正予算（第2号）》

◆国際交流事業（160万円）

問 市長がブラジルを訪問する目的は。

答 ブラジル岐阜県人会85周年、岐阜県人ブラジル移住110周年記念式典に参加するものであり、観光事業だけでなく、これから働く人材が減っていく中、市内在住の外国籍の約半分がブラジル人である美濃加茂市というところに、働き手として来ていただくためにも、市長が訪問して、美濃加茂市をトップがセールスし、日系人とのパイプをつなげるための訪問である。

問 当初予算ではなく、補正予算となった理由は。

答 岐阜県から打診があったのは昨年11月下旬。正式にブラジル岐阜県人会から案内状が届いたと県から送られてきたのが5月下旬。そのため、当初予算には載せることができず今回の補正予算となった。

◆加茂野保育園遊戯棟改修案調査検討（378万9千円）

問 事業の内容は。

答 この事業については、国の子ども・子育て支援交付金の対象となり、対象となる手法としては3点ある。1点目は現在の遊戯棟を壊して新築する方法、2点目は現在の遊戯棟を修繕する方法、3点目は同じく解体してプレハブをリースする方法

で、これら3つの手法が国の補助メニューとしてあり、今回の委託料で費用対効果を検討し、最も財政的に有利かつ利用がしやすい、最も相応しい手法を決定したい。

◆放課後児童健全育成事業（1,156万8千円）

問 事業の詳細は。

答 事業の内容は2つに分かれている。

1つ目は、学童保育の夏休み利用にかかる増額補正で約490万円。昨今の物価高騰、人件費上昇の影響を考慮した金額。

2つ目は、下米田小学校における学童保育の通年利用に係る増額補正で、約670万円。定員60名のところ、平日利用の児童は90名となっている状況に対応するための人件費である。



◆高等学校就学準備等支援金給付事業（2,256万9千円）

問 事業の詳細は。

答 県の補助金を使って、中学校3年生の学年のお子さんを持つ保護者に対して対象児童一人につき3万円を支給する事業。

対象年齢は、平成20年4月2日から平成21年4月1日生まれの方で、基準日は、令和5年9月30日現在である。対象の人数は、650人を想定しており、補助金を1千9百50万円計上している。

◆寄付金（30万円）

問 寄付金をどのような事業に利用していくか。

答 明治安田生命から6回目の寄付金をいただき、健康課で実施している健活ウォークのチラシの印刷や参加景品等に充てており、内容についても、明治安田生命に了解をいただきながら進めている。

委員会審査の概要

◆第2子以降出産祝い金支援事業（2,989万8千円）

問 第2子以降というのは、2人目からお金がもらえるのか。

答 18歳までの子がいる家庭で、2人目以降が生まれた場合が対象となる。

対象者として270名ほどを見込んでいる。

◆学校教材費等支援事業（2,800万円）

問 お子さん一人当たり5,000円を補助するということが、どのように交付されるのか。

答 公立の小中学校と双葉中学校に通う児童、生徒については、7月1日の在籍人数に対して5,000円を学校に対して支給し、毎月徴収する教材費に充当する予定である。

市内の公立小中学校以外の方については教育委員会に申請してもらい、指定の口座に振り込む予定である。



ンディングをし、前向きな回答の3事業者から見積もりし精査をした。地域の事業で特色を出している事業者もあるが、人件費が当然ながら上がっており、1番大きな違いは人件費となっている。

《インボイス制度*の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願書について》

コロナが収まりつつある中で、物価高が非常に厳しい中小企業も多い。これまで頑張ってきたのに倒産するようなことがあれば、かえって経済そのものが、回っていかなくなると危惧する。

そこで、延期をして、世の中の動向を見る必要がある、と賛成の意見。

2019年に消費税の軽減税率が導入されてから協議されており、10月1日からの実施は、現実として受け入れざるを得ない状況にある。また、国を考えると、税収がないと国の運営ができない。それぞれ当事者の方々がご苦労されて国へ実施を求めているが、それが先延ばし先延ばしになると、いろんな事業も展開できないため、賛成しかねる。

趣旨はよく理解できるため、趣旨採択との意見が出された。

よって、本請願全てを採択するものではなく、願意を採択する旨の発言に基づき採決した結果、趣旨採択すべきものと賛成多数で決した。

※令和5年10月1日から導入される仕入れ税額控除の方式。消費税の仕入れ税額控除の適用を受けるための請求書等の様式が適格請求書に変わる。

企画建設常任委員会

《令和5年度市一般会計補正予算（第2号）》

◆債務負担行為補正（1億1,500万円）

問 中山道会館管理運営業務の進め方について。

答 指定管理の今後については、債務負担の予算が認められれば、公募型のプロポーザルで事業者へ仕様を投げかけて審査をし、決定をする流れになっている。

問 物価が上がる中での維持管理の費用について。

答 5年前に指定管理を決めたときは1,400万円だったが、2,300万円と上がっている。今回サウ



※中山道会館

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

■美濃加茂市議会ホームページ

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和5年 第2回定例会



市政一般に対する質問と答弁

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



金井文敏 副議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和5年第2回定例会

6月20日・21日

一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



山田 栄 議員

国の交付金を活用した補助金の不適切事務問題について

問 事案の事実関係及び原因は。

答 電気料金の高騰に対する支援を目的とした「美濃加茂市医療機関・福祉施設等電気料金支援事業補助金」を交付する令和4年度事業において、不適切な事務処理が2事案発生したものである。

本年4月に判明した事案は、対象となる医療機関に補助金制度の周知を行わなかったことにより、補助金交付がされなかった。原因は担当者が医療機関への周知の必要性は認識していたが、事業の期限等の理解が不足しており、後回しにしたこと。そして、課及び係のチームで業務の進捗を管理・確認・実施し、業務を平準化することができていなかったために、一定の職員への過度な負担がかかってしまったこと等が原因であると考えている。

本年5月に判明した事案については、対象となる子育て施設に対し、本年3月31日までに補助金交付

を行うべきところ、会計処理の誤りにより、4年度内に完了することができなかったため、国の交付金の対象外となり、一般財源を充てることになった。この原因は事業を実施する年度内に補助金交付が完了していることが交付金の対象であるという認識がなかったことが、最も大きな原因と考えている。関係課及び関係職員のみの問題とせず、組織全体で原因究明に取り組む。

問 今後の再発防止に向けた取組は。

答 副市長を会長とする「行政実務適正化検討会議」を庁内に設置。法令、財政、人事、企画の各部署が参画し、組織的な課題を明らかにし、外部有識者の行政実務適正化アドバイザーによる知見を加え「政策執行の指針」を策定する。スケジュールの組織的な管理、職員の意識改善などの再発防止策を含む、遵守すべき事項を体系的に整理し、組織の最高位の文書として位置付け、職員一人ひとりに理解を促し、常に改善を行い、持続可能な取組として進めていく。

市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

組織における幹部会の役割について

問 不適正事務処理事案が続いたことは、組織の責任としているが、組織で仕事をしている限り、組織のトップには「結果責任」が求められるが、市長の結果責任についてどう思うか。

答 トップの責任であり、組織にも課題がある。

問 市民の方から、10分の1減給、1ヶ月だけでは少ないとの声があるがどう思うか。

答 弁護士から妥当であると意見をいただいている。様々な意見はあるかと思うが、ご納得いただき、我々としては襟を正したい。

問 2023年3月学校図書館だよりの「私と読書」という題で市長の読書に対する思いが掲載されていたが、その読書会の意図、目的は何か。

答 幹部職員がそれぞれの価値観を共有する中で、相互理解を促進し、より良い組織運営、自治体経営等に役立てていくことを意図し実施している。

問 読書会で効果はあったのか。

答 担うべき政策に対するマネジメントや、行政課題への向き合い方等に寄与したものと考えている。

問 今後も継続していくのか。

答 職員全体の意識高揚や研鑽につながる取組は、必要なため、今後も継続していく。

企業誘致について

問 美濃加茂市に隣接する川辺町福島で、大きな企業誘致が進められていると聞いたが、何か情報が入っているか。

答 現在のところ、開発事業に関する当市への協議や問い合わせなどは、全くない。今後、川辺町福島地区の企業誘致についてその動向を注視していく。

問 (仮)スカイロードインター線整備の見通しは。

答 (仮)スカイロードインター線は、周辺道路の渋滞緩和と美濃加茂インターチェンジへのアクセス性の向上を目的に整備する計画になっている。

令和4年度には国庫補助金も活用し、道路の詳細設計業務や用地測量業務、補償調査・土地評価業務などを進めていく。これらの業務は今年度に繰り越しての業務となっている。業務が完了次第、道路の用地買収および移転補償に着手していく。



永田徳男 議員

消防団について

問 将来の「消防団」をどのように、考えているのか。例えば消防団員の方々の子どもたちの保育園への優先的入所、給食費の無料化、団員在籍中は、市税の減免などの特権を与えられたらどうか。

答 消防団は、消火活動のみならず、地域防災力の中核として重要な役割を果たしている。大規模災害発生時においては、消防団経験者が地域の核となるのが地域防災力の向上にもつながるため、消防団は、今後も必要不可欠な存在であると考えている。

消防団を取り巻く環境は、様々な課題が表面化しているが、将来にわたって消防団が地域防災力の役割を担っていけるよう、消防団員の負担軽減と技術力向上のバランスを図りながら、訓練や行事を見直し、ご家族、職場、地域の方々にご理解いただけるよう取り組み、優遇措置については、他の部署と相談をし、検討していきたい。

自治会について

問 自治会に加入するメリットを行政としてどのように考えられているのか。地域の自治会における、広域でのゴミ問題を含めた課題の解決のためにも「自治会員のみが地域のゴミ集積所にゴミを置く事ができる」ことを条例化できないか。

答 自治会員同士の顔が見える関係性は、地域の交流・連帯感が生まれ、地域の連帯感により、災害時にも、近所同士の見守り、支えあいができる。「地域の交流」や「地域の連帯感」が、自治会加入のメリットであると考えているが、役員の方々の負担軽減も踏まえ、自治会員のみが地域のゴミ収積場におくことができることも、協議したい。



問題となるゴミ集積所の惨状

市政一般に対する質問と答弁



高井実枝 議員

加茂野保育園における誤請求の発生について

問 誤請求の経緯と今後の対応は。

答 給食費は市が徴収すべきものであったが、指定管理者の認識違いと、市側が最終確認を怠ったため誤請求が発生した。同様の事案が生じないよう、厳しく指導した。6月から毎月定例打合せと随時モニタリングを実施する。6月9日までに誤請求分は返金済である。

美濃加茂市の防災・防犯について

問 防災危機管理部局の女性職員は。

答 現在、女性正職員はいない。(会計任用職員が1名) 防災に関する訓練を通じて、女性職員からの意見聴取をし、今後活かしていきたい。

問 女性や高齢者目線の避難訓練の必要性は。

答 避難所の環境改善等において女性や高齢者の目線による運営が求められている。機能別分団として女性消防団員が啓発活動を行っている。市民が主体

的に避難所の開設及び避難訓練が出来るようにしていきたい。

問 今年度の避難訓練は。

答 全地区統一訓練として「危機管理意識の高揚」につながるようなDVDを視聴予定。今年度は(株)ベルメゾンロジスコ(災害協定締結事業所)の施設を利用した物資搬入搬出訓練を調整中である。

問 小中学校の避難訓練の現状は。

答 各学校で創意工夫しながら、実効性のあるものとなるように繰り返し実施している。保護者引き渡しでは、地域ごとに時間をずらした引き渡し等を実施した。

多文化共生について

問 外国人防災リーダー等の育成は進んでいるか。

答 災害時等通訳サポーターの登録は、現在28名。災害時の避難所における通訳のほか、防災啓発などの活動を行っている。

問 ゴミ出しルールの外国籍市民への周知状況は。

答 ゴミ出しルールリーフレットを6か国語に翻訳し、窓口やホームページに掲載。動画を作成し外国語版の公式SNSで情報発信中。今年度は分別方法など詳細な説明入り動画を作成中である。



亀井滋昭 議員

自治体DX推進について

問 マイナンバーカードに関する不手際が度々報道されているが、美濃加茂市における状況及び対策は。

答 マイナポイント付与の支援に係る手続きにおいて、別人の情報に紐づく事案を1件確認した。対策としては、手続き支援端末からのログアウトを徹底するよう注意・指示していく。

情報等の周知について

問 ごみの収集日や分別及び出し方について手軽に調べられるスマホアプリ「さんあ〜る」の導入は。

答 手軽に活用できるアプリ導入も視野に入れる。

問 様々なイベント情報を集約するサービスの活用は。

答 PRのツールとして有益なものであり、イベント等の担い手となる市民の意欲向上にも、寄与する

と思われるため、活用について検討する。

中小企業への振興施策について

問 市内企業の補助金活用状況及び商工会議所との連携は。

答 多くの事業者にも有効に利用していただいている。また、補助金以外にも、対象となりそうな市の補助金等のチラシやパンフレットを置いてもらうなど、連携は取れている。

部活動の地域移行について

問 保護者及び生徒に対する説明及び今後の課題は。

答 部活動の数は現状を維持しながら、生徒の活動は変更することなく、段階的に外部指導者が休日の部活動を行うことなどについて説明している。課題としては、活動方針や運営計画の策定をはじめ、具体的な運営団体・実施主体の在り方、指導者の確保及び育成、活動場所の調整、大会への参加などがあ

市政一般に対する質問と答弁



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新庁舎整備ロードマップの複数候補地の選定は。(ステップ5)

答 新庁舎の機能や課題の実現性、市の方針等を考慮した前提条件を踏まえたうえで、複数候補地案を検討し、ワークショップの場で市民の皆様にご提示することを考えている。また、ワークショップや、まちづくり出前講座等を通じて、皆様から、前提条件を踏まえた候補地案を提言いただくことも視野に入れており、市から提示する案と、皆様から提言していただく案を合わせて、複数候補地案とすることを想定している。

問 新庁舎整備ロードマップの複数候補地の決定は。(ステップ6)

答 ステップ5で選定した複数候補地案について、市民の皆様から意見を聴取するため、無作為抽出した15歳以上4,000人の市民アンケートを実施し、その結果をもとに、議会と協議しながら決定したい。

交通安全対策について

問 通学路の再点検は。

答 現在の路面着色は、通学する箇所を緑色、交差点等の危険箇所を赤茶色で着色して安全対策を行っている。路面着色における対策は、その目的に応じて警察や学校等と連携が不可欠であるため、速やかに実施できるように連携を密にして取り組んでいく。

自治会組織について

問 自治会未加入世帯のゴミ集積場所の在り方は。

答 近年、不適正排出や自治会未加入者とのトラブル等、自治会への負担が増大していることを承知している。不適正排出については、現場を確認し警告シールの貼付や見回りを強化している。未加入者へは、自治会への加入、または集積所使用の承諾を管理者に得ていただくことを案内している。

問 集合住宅、マンション等へのゴミ管理は。

答 ゴミ管理については、オーナー、管理会社の責任において管理していただくことを原則としている。ゴミ出しのルールが守られないような場合は、必要な処置について、現地調査を行いながら対応する。



瀬瀬源太 議員

物価高騰に伴う生活支援について

問 予定されている美濃加茂市における物価対策は国からの臨時交付金ではないか。

答 大部分は国の臨時交付金。水道基本料金減免事業では一般財源を6千万以上活用予定である。

問 国からの交付金がなくなった時、美濃加茂市の負担が一気に膨らむと予測される。美濃加茂市独自の予算による施策はどのようなものがあるか。

答 福祉医療費助成制度の内、小学生及び中学生の児童を対象とした部分の助成、重度心身障がい児福祉手当事業などがある。市の独自予算の施策について、子どもの貧困対策など生活に大きく影響がある方々に対する施策を検討し、効果的な施策を実施したい。

問 国の制度によって未就学児を対象としている2分の1の軽減を市独自に18歳まで延長した場合の公費負担はどの程度になるか

答 約1,000万円が必要となる。

加齢性難聴に対する補聴器購入補助について

問 加齢性難聴に対する補聴器購入の補助金についてどのように考えているか。

答 全国共通の課題として、国にも要望しているところで、県でも高い関心を持っている。

引き続き、国への要望を継続するとともに、市民のニーズ等の状況把握に努め、他市町村の状況も参考にして、効果的な支援に向けて、調査研究を進める。

PTAの行う資源回収について

問 エコステーションの普及によるPTAの資源回収量と市の助成金の変化は。

答 資源回収量はH19年度をピークにおよそ1/4に減少している。奨励金の総額はH19年度は約639万円、H30年度は約163万8千円である。

問 資源回収量に応じて支払われる奨励金は美濃市1キロ3円、可児市1キロ4円に対して美濃加茂市は1キロ3円に満たない場合に差額分を補填するに過ぎず、SDGs推進市として見劣りするが。

答 奨励金は他市との差があり、見直しを検討したい。

市政一般に対する質問と答弁



坂井文好 議員

環境美化意識の向上と 美しいまちづくりの推進について

問 農山村地域のクリーン作戦事業の年2回実施の検討は。

答 例年9月に市全域で実施しているクリーン作戦以外で、独自に地域の実情に合わせて清掃活動を実施されている地区がある。市全域開催の2回実施は考えていないが、環境課ではそうした地域活動に対し、「地域ごみ清掃」の申請をいただければ、草木を除くごみの回収等の対応を行っている。

今後は、クリーン作戦自体の効果検証や、農山村地域の環境保全の観点等も考慮した検証をし、コロナ後の新たな環境政策を進めていきたい。

問 通学路の草刈り等、多面的交付金事業の広域連携は。

答 通学路の草刈り等で、多面的機能支払交付金制度を実施していない隣接地区の方々に新たな組織を設立して活動していただくことは、子供たちの安全

性の向上や農地の環境保全に大変有意義である。しかし、当該制度を活用するためには多くの事務作業に労力がかかり、負担も大きい。

そこで、5名以上という条件で、地域で農業用資源の保全を図りたいという団体があれば、活動経費の一部を補助する「農業用資源保全管理活動補助金制度」がある。こちらは申請手続きも比較的簡略化されている。農地等の環境保全に加えて通学路の安全対策等、関連する部署に農林課発で提案し、情報共有を図り、活動が広がるように努力して行く。

問 「人・農地プラン」に代わる「地域計画」の策定は。

答 農業者の高齢化や耕作放棄地の拡大が加速化する中、農業経営基盤強化促進法の一部が改正された。地域農業の在り方を示す「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化され、新たに目標地区の作成が義務づけられた。

目標地区とは、農地利用の目指すべき設計図であり、地域での話し合いにて作成することになっている。地域の関係者と一体になった協議の場を設け、法律に基づき、令和7年3月末までに地域計画を策定する。



岸 一夫 議員

少子化に係る結婚問題について

問 市としては多くの男女が結婚できるような対策はしているのか。

答 市では、結婚相談所の開設をはじめ、平成27年度から取り組んでいる「美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略カミーノ」において、いわゆる「婚活イベント」や、「女性活躍支援センター リオラ」で実施している「ライフプランセミナー」など、出会い・結婚に関する事業を展開してきた。また、若い世代で活用されているマッチングアプリを、ひとつの出会い・結婚の手段として活用していくことについて、検討していく。

問 本市でも結婚相談所を開設しているが、年間どのくらいの申し込みがあるか。男女の割合は。

答 当市の結婚相談事業は、美濃加茂市社会福祉協議会に委託して事業を行っている。令和4年度の相談件数は392件であった。会員登録数は男性21名、女性24名であった。

問 昨年度、縁結びができた人は何組か。

答 令和4年度の成婚件数は5組あった。

児童の通学路について

問 児童の通学時における緊急事態のトイレ設置について、教育委員会の対応は。

答 子ども110番の家は、各学校とPTAが連携し、地区委員を介して拡充に努めている。防犯上のサポートだけでなく、トイレの利用についてもご理解とご協力をお願いしている。

第4分団消防車庫のトイレ利用について

問 トイレを利用する際は、車庫の中に入らなくても外から出入りできるようにできないか。

答 第4分団の消防車庫にトイレはあるが、防犯上の観点から基本的に出入口は施錠をしている。外からトイレが利用できるための改修工事は、技術的には可能ではあるが、車庫の中に消防車両の他、様々な資機材も多く保管しており、トイレだけを分離することは難しい状況である。また、トイレの出入口は、国道の裏側で人目につかない場所となるため、児童を含め、防犯上の安全対策にも課題があり、現状では改修工事による対応は難しいと考える。

市政一般に対する質問と答弁



田口智子 議員

子どもまんなか施策について

問 公立中学校の制服について多様性にも配慮したブレザータイプの制服の導入の考えは

答 今後の見通しとして、美濃加茂市中学校制服検討委員会を設置し、児童生徒や保護者、学校関係者に対するアンケート調査や意見交換を行い、慎重かつスピーディーな決定ができるよう努めていく。

問 教育現場の人手確保の検討は

答 教員OBや教員免許を所持している人、教員養成系大学などに広く声をかけ、人材を探すことに努めてきたが、なかなか改善できていないのが現状である。教員免許に関係なく学習支援員を募集し、現在は予定していた数の支援員を配置している。また、この6月からは学力向上特認講師として、市独自で任用し配置している。今後の学校状況を見届けながら新たな支援員の配置も検討していきたい。

職員の働き方改革について

問 職員の離職者数、事由をどうとらえるか

答 令和4年度の20～40代の離職者は8名。退職の理由としてはキャリアアップ、家庭の事情や体調によるものなど様々な理由による。

問 課別の時間外勤務状況は

答 令和2年度以降は、国のコロナウイルス感染症に関する業務が地方創生臨時交付金事業、マイナンバーカード普及事業などの影響もあり時間外勤務は増加している。このような状況は職員に心身ともに負担がかかり、業務の質の低下につながりかねない重要な課題であると認識している。

問 パワハラ・セクハラ等のハラスメントの苦情や状況、ストレス・メンタルチェックの状況は。

答 具体的な相談が寄せられれば関係者からの聞き取りを行い、保健師や精神保健福祉士などの相談につなげるといった対応を行っている。ストレスチェックについては毎年、全職員に実施しており高ストレス者については精神保健福祉士や医師の面談につなげる対応を行っている。



森 弓子 議員

少子化対策についての提案

問 ネット検索する方々に、子育て関連の支援策として、いろいろな支援があることが大事と考えるが、新婚世帯向け家賃補助の導入をしてはどうか。

答 県内の市では、12市で、家賃、リフォーム、引っ越し等の費用に対する補助が行われている。支援の導入を前提に、他市における利用状況や効果等を参考に考慮し、制度設計を図っていきたい。

問 三和町や伊深町の少子化は切実だと感じるが、様々な地域資源を活かした住民提案型のプロポーザルによる婚活イベントを市制70周年記念として開催してはどうか。

答 地域ならではの発想を活かした提案が期待できるのではないかと思う。

市制70周年という節目となる年を、心に刻むことができるよう、市民の皆様と共に、取り組むことができる事業等を、計画したいと考えている。

問 「子どもを産み育てる環境づくりの為、学校給

食費を、第3子以降は上の子が中学生以上になっても無料にしてはどうか。

答 今のところ実施の予定はないが、子育て世帯の負担軽減策として実施している自治体もあるので、費用やその効果について検証していく。

東鉄バス「古井駅停留所」について

問 バス停が、昨年11月に廃止されたが、古井駅の近くに再設置できないか。また、「古井駅」の表示看板がないので設置を。

答 バス停が廃止されてから現在まで、「不便である」といったご意見は、2件程度でその他の目立った反響はない。

バス事業者である東濃鉄道バスと、地元住民との対話や警察等関係機関と協議を行い、移設場所の検討を行ったが、基準が示され、この基準を満たす場所が、市道神明森山線沿いには確保できず、今後も努力は続けるが、「古井駅停留所」の再設置は困難である。

看板については、古井駅周辺の道路は、狭いため、安全な通行を確保しながら案内効果が出るような対策を検討していく。

市政一般に対する質問と答弁



柘植宏一 議員

自治会のあり方について

問 自治会活動の今後の見通しは。

答 現状では、役員の選出や行事などに対する負担感が大きく、また、個人個人の考え方の多様性などにより、自治会加入率も減少し、自治会活動の疲弊に繋がっている。行政側からの自治会に対する、様々な依頼事項についても、自治会の負担感を大きくしている。「自治会員の減少」や「会員の高齢化」、さらには「自治会の解散」ということも想定され、これにより「高齢者や子ども達の見守り」や「災害時」に地域コミュニティが機能しなくなることが懸念される。自治会長研修会や、勉強会等の支援を行うと共に、行政も自治会への依頼事項の見直しなど、庁内において協議を行っていききたい。

問 社協一般会費、各種募金、消防協力費等の自治会負担金については、自治会加入者に不公平感が存在する。地方税の「わがまち特例」などを活用し市民税化する考えは。

答 「わがまち特例」による課税については、今後内容について十分研究し、有効なものであるか検討していきたい。

問 集積所の市への管理移行は。

答 高齢者のごみ出しや集積所管理に関する自治会の負担は大きな課題である。自治会加入率の問題等もあり、市内すべての集積所の管理を市が行うという手法も選択肢の一つと考える。

まちづくり協議会のあり方について

問 まちづくり協議会の役割、財源、自治会や連絡所との関係など、まちづくり協議会条例の制定が急がれるが。

答 自治会加入率が低下していく現状では、自治会の負担軽減と併せて、まちづくり協議会の活動強化を、優先的に検討していく必要がある。自治会とまち協の役割分担、まち協の位置づけなどを明確化し、地域全体で地域ビジョンを共有するとともに、まち協の活動が一過性でなく、次世代へ繋いでいくためにも、人材育成と組織づくりに力を入れていく必要がある。

条例制定については、地域の方々の意見も伺いながら、検討していきたい。



村瀬正樹 議員

堂洞城の復元について

問 歴史的文化財としての指定価値や文化財登録の可能性はあるか。

答 文化財としての指定は、伝聞ではなく、史実や調査結果に基づき行われることとなっている。

堂洞城は、遺構などの明確な調査資料がなく、主に書き物による描写によって伝わっているため、文化財に指定することは、現時点では、難しいものと思われる。しかしながら、歴史の伝承という視点からは、地域の歴史的遺産を後世に伝えていく取組は、今後も行っていききたいと考えている。

問 地元（市あるいは坂祝町、富加町）を巻き込んだ復元運動の音頭取りはできないか。

答 確実な資料が、現時点では存在しないこと、遺構が富加町にあることから、歴史の伝承等については、定住自立圏事業で実施してきたが、今後も富加町と連携しながら実施していききたいと考えている。

度重なる不祥事について

問 公務員としての市職員並びに市民の代弁者である市議会議員の意識使命感は。

答 関係者及び市民の皆様にご迷惑とご心配をお掛けし、心よりお詫び申し上げます。職員の処分と合わせ、市長と副市長も組織を指揮監督する者として、10分の1の給与減額を1か月とする条例案を提出している。職員一人ひとりが、自覚と責任をもった行動で、職務に精励し、信頼回復に向け、全庁一丸となって取り組んでいく。

新庁舎整備ロードマップの進め方について

問 現在の状況と、ワークショップの持ち方は。

答 現在は、「市の役割の見える化」(ステップ1)のための、ワークショップの準備を行っている。7月下旬に行う予定で、1回の人員は30～36人程度で複数回を予定している。日時・場所を指定するものの他、参加希望の団体にはご都合を合わせたい。周知方法は、チラシ、広報紙への折り込み、ホームページ、新庁舎整備情報ポータルサイトへの掲載で呼びかけたい。

市政一般に対する質問と答弁



谷本 梓 議員

補助金交付による不適正事務処理について

問 どちらも（健康課・こども未来課）昨年度の国の交付金を有効に使えなかった事をどう思うか。

答 健康課においては令和4年度内に医療機関に対する支援が行えなかっただけでなく国からの交付金約3,241万円を返還、こども未来課においては国からの交付金約564万円の交付が受けられない事態となり市の貴重な財源を失った。今後は確実な事務の執行を徹底し業務の遂行に万全を期していく。

加茂野保育園の二重請求と事業の引き継ぎについて

問 引き継ぎ保育の体制は。

答 令和4年10月から加茂野保育園の園長候補者と加茂野児童館の館長候補者を各1名、令和5年3月に保育士3名を受け入れ、年少クラスに2名、未満児クラスに1名を配置した。

問 他市の事例と比べ、引き継ぎ期間が極めて短く、十分ではないと感じるが。

答 もう少し長く設定すべきであった。

問 三者協議をする場合は設けられていたか。

答 令和4年10月23日に加茂野交流センターにおいて保護者説明会を行い、保護者からの意見を聞きその都度回答を行った。

事業者、美濃加茂市、保護者とで意見交換が出来る場を設置し円滑に事業を進める事が子ども達の最大の利益になると考える。

問 今後の予定は。

答 今年度は保護者会が設置され指定管理者との保護者会が持たれる予定であり、結果については指定管理者と市の定例会で報告、助言を行う予定である。

問 市の提示している参加資格が緩いのでは。

答 厳密な審査を行うとともに最優先候補者として決定した後も状況確認を適正に行い慎重に相手方事業者を選定していきたい。

学童保育について

問 6年生の申請を受け付けなかった理由は。

答 保育の必要性が高い低学年を受け入れるためである。高学年の潜在的なニーズは存在しているので早期に教育委員会等関係部署と協議を行い受入れに向けた検討を行いたい。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいたご意見の一部を掲載します。

- ・美濃加茂市民が住みやすいと感じるまちづくりをして欲しいと思いました。また、市民の声を各議員より市長へ届けていただけるため、美濃加茂市がさらに良くなることを期待しています。
- ・男性議員、女性議員に限らず住民の声をよく聞いて、いろいろな角度から調べたうえでのご質問が多く、再質問もされるだけの材料をお持ちであることも多く、活気のある議会内容につながっていると感じました。
- ・討論は多くの議員の方が発言され、会派にしばられない自由な討論のきっかけになるのではという嬉しい思いで聞きました。

議 会 日 誌 (主なもの)

5月

3日 市スポーツ協会スポーツ大会開会式
10日 静岡県焼津市議会行政視察
11日 議会改革特別委員会
文教民生常任委員会
12日 議会運営委員会
議員研修会（法令について）
17日 鹿児島県指宿市議会行政視察
19日 可茂地域市町村議会議長会議
21日 坪内逍遙博士顕彰会総会
22日 市商店街連合会・ポイントカード会合同通常総会
23日 中濃十市議会議長会議
24日 中濃法人会美濃加茂支部令和5年度通常総会
26日 市議会議員OB会研修会
27日 NPO法人美濃加茂国際交流協会総会
31日 加茂防衛協会定期総会

6月

2日 議会運営委員会
文教民生常任委員会協議会
企画建設常任委員会協議会

5日 市消防操法大会出場隊激励
7日 文教民生常任委員会勉強会（オーガニック給食、社会福祉協議会について）
8日 レンジャー部隊慰問激励
市シルバー人材センター定時総会
市消防操法大会出場隊激励
9日 議会運営委員会
10日 少年の主張美濃加茂大会
13日 新庁舎建設特別委員会
議会だより編集委員会
文教民生常任委員会協議会
企画建設常任委員会協議会
14日 全国市議会議長会定期総会
18日 市消防操法大会及び市消防団競練会
19日 美濃加茂市観光協会総会
国民健康保険運営協議会
23日 文教民生常任委員会
26日 企画建設常任委員会
28日 議会運営委員会
29日 予算決算特別委員会
新庁舎建設特別委員会

7月

3日 議会だより編集委員会

4日 市障がい者総合支援協議会
6日 可茂地域一部事務組合議会臨時会
11日 議会だより編集委員会
会派代表者会議
給食センター運営委員会・物資選定委員会
13日 県自治連絡協議会総会
四線促進期成同盟会総会
14日 県市議会議長会議
18日 議会だより編集委員会
鹿児島県曾於市議会行政視察
19日 東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会及び講演会
20日 文教民生常任委員会行政視察
21日 //
24日 議会運営委員会
予算決算特別委員会分科会
県消防操法大会出場隊激励
26日 国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会定期総会
27日 群馬県高崎市議会行政視察
31日 県市町村職員退職手当組合議会

オーガニック給食の勉強のため蜂友学舎保育園を訪問しました

令和5年6月7日、蜂屋町にある蜂友学舎保育園を訪問しました。

実際に園児が食べているオーガニック認証を受けた食材や調味料を使った給食を試食させていただき、園長先生や事務局長、栄養士の方の説明を伺いオーガニック給食について学ぶことができました。

オーガニック食材を食べることの効果は10年後に出るという話を伺い、議会としても美濃加茂市の将来を担っていく子どもたちのためにも、食材を生産している農家も含めた調査・研究を進めてまいります。



議員表彰

令和5年度全国市議会議長会及び東海市議会議長会の定期総会において、下記の議員が表彰され、議長から表彰状の伝達を行いました。

森厚夫議員
議員在職：25年以上



次の定例会の予定

令和5年市議会第3回定例会

8月24日(木) 初日

9月6日(水) 一般質問

7日(木) 一般質問

8日(金) 一般質問

11日(月) 質疑

21日(木) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

本定例会に上程された補正予算において、市長のブラジル訪問に関わる予算の減額修正案が可決された。市議会史上、修正案の提出は2度目であるが、可決されたのは初めてである。賛成・反対は別として、予算を否決したことは、議会が大きな権限を持っていることの再確認となった。予算の議決権や条例の提案権など、議会の権限を積極的に運用し、より市民のためになる施策が実現できるよう、議会活動が活性化されることを期待したい。

また、本定例会で見えてきた課題は、予算案が2つの常任委員会に分割付託されていること、活発な議論が行われる常任委員会の中継がないことである。早急の改善が必要と考える。
柘植 宏一

第2回定例会の議場装花



市の花：あじさい

市議会では、政務活動費の支出内容の明確化と透明性の確保のため、各会派の政務活動費の収支報告書・出納簿及び領収書を、ホームページにて公開しています。(公開内容は令和4年度分)

「市議会ホームページ→情報公開→政務活動費支出状況」からご覧いただくことができます。引き続き、健全な議会運営に努めてまいります。

次回の議会だよりは、令和5年11月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファクス、メールにてお寄せください。

